



# Asian Pottery

2026.2.20 Fri — 4.5 Sun

- 休館日 / 月曜日(ただし2月23日<祝>は開館し、翌24日<火>が休館)
- 開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料 / 一般 630円、高校・大学生 420円、小学・中学生 無料

※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

[左上] 志野柳文鉢 美濃 日本 桃山時代 [右上] 青磁象嵌辰砂雲鶴文合子 朝鮮 高麗時代

[左下] 青花牡丹文大鉢 ベトナム 15世紀 [右下] 黄地青花文皿 景德鎮窯 中国 明時代

## 大和文華館

—— 奈良・学園前 ——

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN | NARA-GAKUENMAE



アジアの  
やきもの

# アジアのやきもの

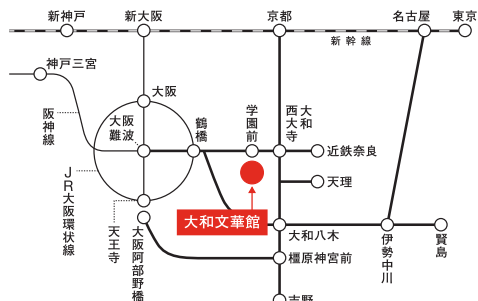
The exhibition features Asian potteries from China, Korea, Japan, and Vietnam. They have both similarities and differences. Notice the influences between the areas or developments unique to each area.

中国・ベトナム・朝鮮・日本といったアジアのやきものを展示します。釉薬などの技術革新が進展した中国では、白磁、青磁、三彩、青花、釉裏紅、五彩といったやきものが次々と生み出され、周辺諸国に影響を与えました。ベトナムのやきものは、南方らしい柔らかな表現などに特徴があります。朝鮮半島のやきものは、異なる色の土を埋め込む象嵌技法が多く用いられている点や五彩が発展しなかった点などに独自の好みが見られます。日本のやきものは、中国や朝鮮半島の技術の刺激を受けながらも、中世には素朴な焼締陶、桃山時代には大胆で伸びやかな茶陶が隆盛するなど、多様に展開しました。また、中国・ベトナム・朝鮮などのやきものを、独自の美意識をもって取り入れ、茶の湯の器として用いました。アジアのやきものの類似点や相違点に目を向け、各地のやきもの影響関係や、それぞれの特徴・美意識を詳らかにします。



1. 青磁雕花蓮華文瓶 耀州窯 中国 北宋時代 2. 粉青鉄絵柳鳥文瓶 朝鮮 朝鮮時代 3. 青花山水人物文碗 ベトナム 16～17世紀 4. 色絵牡丹鳳凰文角鉢子 有田(柿右衛門) 日本 江戸時代中期

- 特別講演……………3月1日(日) 午後2時・講堂「中国からアジアへーやきものから見た各国の美意識」  
町田市立博物館学芸員 新井崇之氏 [定員]当日先着100名(予約不要)
- 日曜美術講座……………3月22日(日)午後2時・講堂「茶の湯とアジアのやきものーベトナム陶磁・朝鮮陶磁を中心に」  
当館学芸部課長 宮崎もも [定員]当日先着100名(予約不要)
- 列品解説……………毎週土曜日 午後2時・当館学芸部による ●無料招待デー……………3月6日(金)



大和文華館  
——奈良・学園前——  
THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN  
NARA・GAKUENMAE  
〒631-0034 奈良市学園南1-11-6  
TEL (0742)45-0544 FAX (0742)49-2929  
近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分 無料駐車場あり